平成３０年度　事業報告書

１事業の成果

　　平成３０年９月から２期目の事業がスタートしました。読売新聞（平成３１年１月２５日）に取り上げられ、また、同年３月に川崎市教育委員会の後援を得ることが出来ましたので、生徒数は飛躍的に増え、期初の１８名から期末には３２名となりました。教場は従来通り川崎市いこいの家の夜間開放を利用しています。

　　経済的に恵まれない家庭の子どもを主な対象として、夕食提供と学習指導を無償で行うというコンセプトは変わっていません。私どもの趣旨に賛同された方が平成３０年９月にNPO法人寺子屋子ども食堂・王子を兄弟校としてオープンされました。また、令和元年１１月には神奈川県相模大野に「てらこや食堂ラッキーズ」が姉妹校としてスタートします。今後ともこの寺子屋食堂が全国に広まって行くのではと思っています。

　　川崎市からの要請で始まった親子参加型の日曜講座は専修大学の課題解決型インターンシップに採択され、５名の学生が企画・立案・実行しました。

　平成３０年１０月のクラシック音楽鑑賞会（ミューザ川崎）、同年１１月の芋掘り＆BBQ大会、同年１２月のクリスマスパーティ（２日間）、平成３１年２月の第２回スノボー教室、同年３月の陶芸教室、同年４月の筍掘り＆BBQ大会、令和元年６月のヨガ教室と年間８回の実施となりました。また、第１期に比べて参加者が大幅に増え、筍掘り＆BBQ大会では親子・ボランティア・地域住民が４０名参加しました。

　　法人運営の基盤となる財政面では、平成３１年３月まで独立行政法人福祉医療機構の「子どもの未来応援基金第２回未来応援ネットワーク事業」の助成金総額4,101千円を受けていました。同年４月以降は寄付金と借入金で賄っています。

　　学習指導面では平成３１年３月に２人の受験生がそれぞれ第１志望の高校に合格しました。世間の評価ではなくて、教育内容の充実した高校や大学に進学させたいというのが私どもの願いです。

２　事業内容

1. 特定非営利活動に係る事業

第２期も通年で各教場とも基本週２回開催

長尾いこいの家　　90回　延べ人数８２８人

菅いこいの家　　　97回　延べ人数６１６人